

令和7年度 第2回 森林・林業を知る見学会を開催しました

- 日 時：令和7年11月7日（金）
- 目的地：林野火災復旧に向けた取組（大船渡市）
高田松原の松林再生への取組（津波復興祈念公園）
気仙大工左官伝承館（陸前高田市）
- 参加者：23名

☆大船渡市林野火災復旧に向けた取組☆

令和6年2月に発生した大船渡市の林野火災の復旧に向けた取組について説明を受けました。延焼面積は大規模だったが、全体の燃え方は様々で、下草が燃える「地表火」で被害にあった木の利用促進を図っています。見学した市有林は植栽して50年経過し、間伐作業の途中で火災にあってしまったとのこと。火災から8か月ほど経過し、山には下草が生えてきた状況でした。復旧に向けた取組が少しずつ進んでいることを現地で知ることができました。



被災した市有林



県の菊池さんの説明

☆高田松原の松林再生への取組☆

東日本大震災で発生した津波により、全長約1.9km、約7万本の松原が被害を受けました。県の復旧・再生の取組と現状について、津波復興祈念公園を歩きながら説明を受けました。海側にクロマツ、山側にアカマツを植栽。その後、台風などの被害を受けながらも、現在は4mほどに成長していました。松くい虫被害のほか、海岸エリアのため、クズの弦の被害が

多く、マツの生育を妨げています。下刈り、枝打ち、弦切り、列状間伐などを実施しているほか、今年度はヤギによるクズ駆除の検証も実施しましたが、クズをよく食べるものの、すぐに満腹になってしまうとのことでした。



県の橋本さんの説明



整備された松林



クズが繁茂する松林

☆気仙大工左官伝承館☆

陸前高田市小友町にある「気仙大工左官伝承館」を見学。気仙地方の大工の優れた技法を後世に伝えるため、明治初期の建築様式でこの場所に建てられました。当時の民家を想定し、材料は全て地元産の気仙杉などを使用。建具や彫刻も繊細で、技術力の高さを感じることができました。



主屋棟



太い柱と梁